

 Secure Remote Service **リモートPC<sup>2</sup>**<sup>TM</sup>

**windowsPC導入設定ガイド**



#### ご注意

このソフトウェアの仕様およびマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。

また、税制等の改正や操作上の改良のため、マニュアルの表記と実際の画面や操作方法が異なることがあります。

特に記載していない場合、このソフトウェアおよびマニュアルで使用している会社、組織、製品、人物、データなどの名称は架空のもので、実在する商品名、団体名、個人名などとは一切関係ありません。

このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。このソフトウェアおよびマニュアルのいかなる部分も、株式会社ミロク情報サービスの書面による許諾を受けることなく、その目的を問わず、どのような形態であっても、複製または譲渡することは禁じられています。ここでいう形態とは、複写や記録など、電子的な、または物理的なすべての手段を含みます。

株式会社ミロク情報サービスは、このマニュアルに記載されている内容に関し、特許権、商標権、著作権、およびこれらを出願する権利、またはその他の無体財産権を有する場合があります。このマニュアルはこれらの特許権、著作権、またはその他の無体財産権に関する権利をお客様に許諾するものではありません。

「iCompass リモート PC」は、株式会社ミロク情報サービスが著作権を有するソフトウェアです。

「iCompass リモート PC」は、株式会社ミロク情報サービスの登録商標です。

Microsoft Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Adobe, Acrobat, および Distiller は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

その他すべてのブランド名、製品名および会社名等はそれらの所有者の商標もしくは登録商標あるいは登録商号です。

Copyright©2009 -2013MIROKU JYOHU SERVICE CO., LTD. All rights reserved.

# 目 次

## 第1章 はじめに

---

1.1 システムの特長	7
1.2 基本仕様	8
1.3 使用上の注意点について	10
1.3.1 Windows Vista 以降の OS での注意点	10
1.3.2 その他の注意点	10
1.4 ユーザーの種類	12

## 第2章 初期設定

---

2.1 初期設定の流れ	14
2.2 ログイン	15
2.3 エージェントの設定	17

## 第3章 リモート接続と制御方法

---

3.1 処理の流れ	22
3.2 ログイン	23
3.3 リモート PC 選択	24
3.4 RemoteView ビューア機能説明	26
3.5 接続時の設定について	31

## 第4章 ユーザー管理・グループ管理を行う

---

4.1 概要	36
4.2 マネージャー作成	37
4.3 グループの作成とマネージャへの権限付与	38
4.4 ユーザー作成	39
4.5 ユーザーが所属するグループを設定	40

4.6	リモート PC が所属するグループを設定	41
4.7	ユーザーの削除	42
4.8	グループの削除	43
<b>第 5 章 エージェントのアンインストール</b>		
5.1	エージェントのアンインストール	46
<b>第 6 章 スマートフォン用マニュアル・ライセンス情報</b>		
6.1	ダウンロード	50
6.2	ライセンス情報	51
<b>第 7 章 ユーザー別権限</b>		
7.1	ユーザーごとの権限一覧表(管理画面)	54
7.2	ユーザーごとの権限一覧表(遠隔制御)	55
<b>第 8 章 Q&amp;A について</b>		
8.1	Q&A について	58

# 第1章

## はじめに

この章では、『iCompass リモート PC2』の特長や基本仕様などについて説明します。

- 1.1 システムの特長
- 1.2 基本仕様
- 1.3 使用上の注意点について
- 1.4 ユーザーの種類

## 1.1 システムの特長

---

『iCompass リモート PC2』とは、インターネットを通して、いつでもどこからでも Web ブラウザからリモート先のコンピュータをリアルタイムにリモート操作することができるツールです。

これにより事務所や会社から帰宅後、明日の会議に必要な書類を作成しなければならなかったり、お客様に提供する資料をもう一度見直したい等の理由により急に書類が必要になった場合でも、自宅のパソコンからインターネットに接続して必要なファイルを取り出すことができます。

さらに、出張先からでも必要なデータを参照することができるため、出張中に重要なファイルを持ち運ぶ必要がなくなり、その結果盗難等によりファイルを紛失するリスクを防ぐことも可能となり、個人情報保護の観点から見ても有効なシステムになります。

### ●導入の容易さ

『iCompass リモート PC』を使用するにあたり、接続される側となるパソコンにエージェントと呼ばれるプログラムをインストールする必要がありますが、『iCompass リモート PC』のポータルサイトから容易にインストールが可能です。また、接続する側となるパソコンはインターネットに接続できる環境があれば、使用することができます。

### ●通信には SSL 暗号化通信を使用

通信には SSL (Secure Sockets Layer) をサポートして、データ通信および Web 認証等、すべてのネットワーク通信に SSL 通信を使用しているため、セキュリティ対策は万全です。

### ●ログイン機能

エージェントプログラムをインストールする際に、リモート PC に接続するための ID やパスワードを設定することが可能です。

その場合、リモート PC に接続するために ID やパスワードの入力が必要となりますので、他の人が不用意にログインできないように制限することができます。

### ●携帯端末からアクセスできます

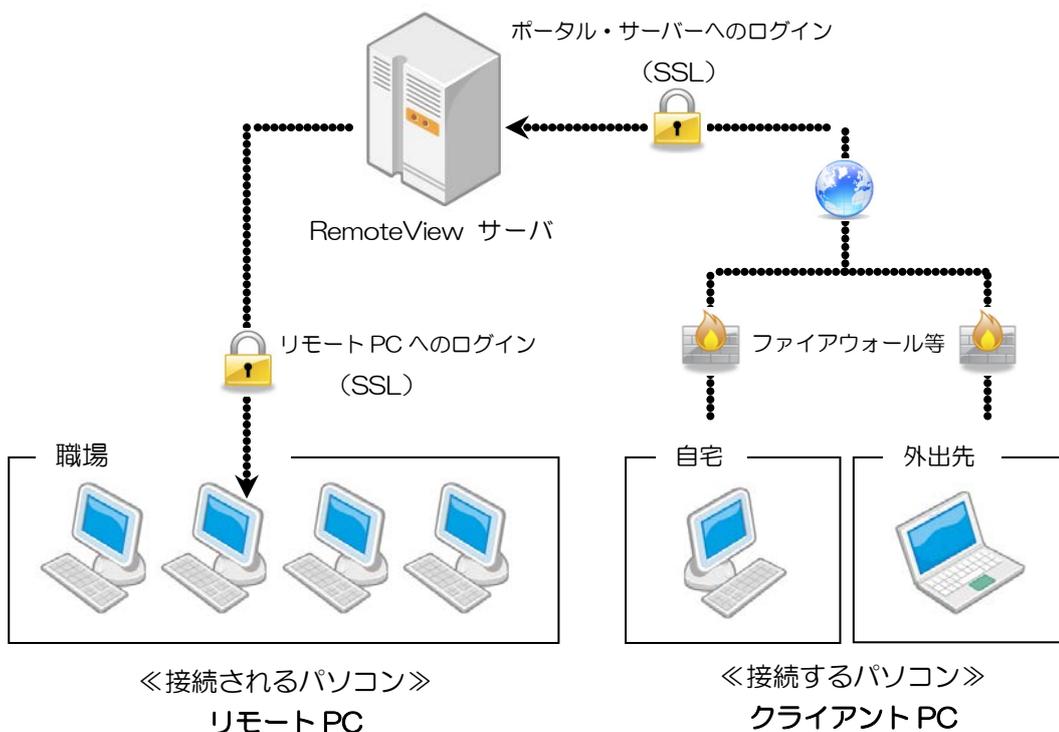
リモート PC へのアクセスが、スマートフォン、タブレット端末(一部非対応)に対応しました。

## 1.2 基本仕様

『iCompass リモート PC』ではインターネット接続が可能なパソコンであれば、内部ネットワーク・外部ネットワークに関わらず接続することが可能です。

ファイアウォールやプロキシサーバーを使用している環境でも同様です。これは接続環境が「ポータル・サーバー」を介して行われるためです。

※例えば、自宅または外出先から職場内にあるパソコンに接続する場合は次のようになります。



以降の説明では、接続するパソコンを「クライアント PC」、接続されるパソコンを「リモート PC」として説明しています。

### ● リモート PC (接続されるパソコン) 動作環境

(1) 対応 OS : Windows Vista 以降 (win7 以降は 32bit/64bit)

※Windows8、8.1 は一部の機能に対応していません。

※Windows RT は対応してありません。

CPU : Pentium 4.2 以上

メモリ : 512MB 以上

HD 容量 : 100MB

(2) サーバ用 OS の場合

対応 OS : Windows server 2003 standard edition SP1 以降

CPU : 2GHz 以上

メモリ : 1GB 以上

HD 容量 : 500MB

安定した通信を行えるインターネット接続環境 (ADSL 以上を推奨)

※必要なファイルの更新を行うため、初回接続時のみ administrator 権限が必要になります。

## ●クライアント PC(接続するパソコン)動作環境

### (1)windows クライアント用 OS の場合

対応 OS : Windows Vista 以降

※Windows8、8.1 は一部の機能に対応していません。

※Windows RT は対応しておりません。

CPU : Pentium 4.2 以上

メモリ : 512MB 以上

HD 容量 : 100MB

ブラウザ : Internet Explorer 8.0 以上(32bit アプリケーション)

Fire Fox3.5 以上/ Chrome 7.0 以上/ Safari4.0 以上

### (2)ipad の場合

対応 OS : iOS 5.1.2 以上

### (3)iphone の場合

対応 OS : iOS 5.1.2 以上

### (4)スマートフォンおよび Android タブレットの場合

対応 OS : Android 2.3 以上

### (5) windows サーバ用 OS の場合

対応 OS : Windows server 2003 standard edition SP1 以降

CPU : 2GHz 以上

メモリ : 1GB 以上

HD 容量 : 500MB

ブラウザ : Internet Explorer 8.0 以上(32bit アプリケーション)

Fire Fox3.5 以上/ Chrome 7.0 以上/ Safari4.0 以上

### (6)Macintosh の場合

対応 OS : MAC OS X10.6 以降

CPU : Intel CPU

メモリ : 512MB 以上

HD 容量 : 500MB

ブラウザ : Safari4.0 以上/ Fire Fox3.5 以上

### 安定した通信を行えるインターネット接続環境 (ADSL 以上を推奨)

※必要なファイルの更新を行うため、初回接続時のみ administrator 権限が必要になります。

※動作環境については、2015 年 4/27 現在の情報になります。

※LTE テザリング回線を使用している場合、通信時のパケット量が多いため長時間動作を行うとパケット制限値に達してしまう場合があります。

※Internet Explorer 以外のブラウザを使用する場合、Remote View ランチャーのインストールを求められるので実行する必要があります。

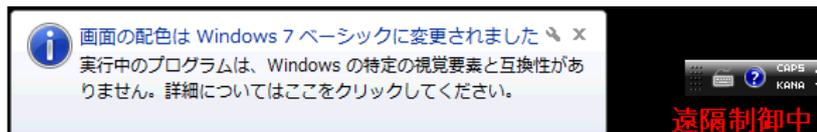
## 1.3 使用上の注意点について

### 1.3.1 Windows Vista 以降の OS での注意点

Windows Vista 以降の OS で『iCompass リモート PC』を使用する場合には、機能の違いにより一部動作が異なることがあります。次の内容をご確認ください。

(1) リモート PC 接続時にメッセージ

リモート PC として使用するパソコンの OS が Windows Vista 以降の場合、接続時に次のようなメッセージが表示されます。



リモート接続中は Aero モードが使用できないため、上記メッセージが表示されることとなります。メッセージを回避することはできないので、ボタンでメッセージを閉じてください。

(2) Aero 機能について

接続中は、Windows Aero が無効になります。

### 1.3.2 その他の注意点

(1) Windows ログインユーザーの簡易切り替えについて

リモート PC 接続中に、Windows ユーザー簡易切り替えを行うと、「リモート PC の操作ができなくなってしまう」、もしくは「リモート PC との接続が強制的に切断されてしまう」現象が発生する場合があります。

現象が発生した場合には、次のいずれかの対応を行ってください。

- ① リモート PC の操作ができなくなった場合は一度切断してから再接続を行ってください。
- ② 強制的に切断されてしまった場合は、再接続を行ってください。

(2) リモート PC を利用する場合の休止設定について

リモート PC 接続先のパソコンがスタンバイや休止状態になっていると、接続ができません。スタンバイや休止状態の機能は無効に設定してください。

(3) 保護モードが有効な場合について

Internet Explorer 8 以降をご使用の場合、ブラウザの保護モードが有効になりリモート PC に接続できないことがあります。

接続できない場合には、リモート PC の接続先 URL を信頼済みサイトに登録してください。

(4) 「かな入力」について

リモート PC の接続先が「かな入力」を使用している場合、一部のかな文字が正常に入力されません。ローマ字入力をご利用ください。

(5) リモート印刷について

リモートプリンタを経由して印刷をした場合、文字サイズや罫線の位置が縮小されて印刷される場合があります。定型用紙への印刷を行う場合はご注意ください。

## 1.4 ユーザーの種類

---

### 管理者

購入時に MJS から付与されたアカウントになります。

全メニューと機能がご利用可能で、社内のすべてのグループ、パソコン、ユーザーに対する権限を付与およびライセンス管理が可能です。

アカウント名の変更やアカウントを追加することはできません。

### マネージャ

必要に応じて作成するアカウントです。

管理者に次ぐ権限として、管理者が付与したグループのユーザーに対して管理者と同様な権限付与及び管理ができます。

アカウント作成に関しては『[4.2 マネージャの作成](#)』を参照してください。

### 一般ユーザー

必要に応じて作成するアカウントです。

一般ユーザーの場合管理権限はなく、接続以外の機能を有さず、管理者またはマネージャから付与された機能を使い遠隔制御などが可能です。接続以外の使用をされたくない場合に使用してください。権限がないグループの情報は閲覧できません。

アカウント作成に関しては『[4.4 ユーザー作成](#)』を参照してください。

権限についての詳細は、『[7.1 ユーザごとの権限一覧表\(管理画面\)](#)』『[7.2 ユーザごとの権限一覧表\(遠隔制御\)](#)』を参照してください。

# 第2章

## 初期設定

この章では、『iCompass リモート PC2』を使用するためのエージェントインストールについて説明します。

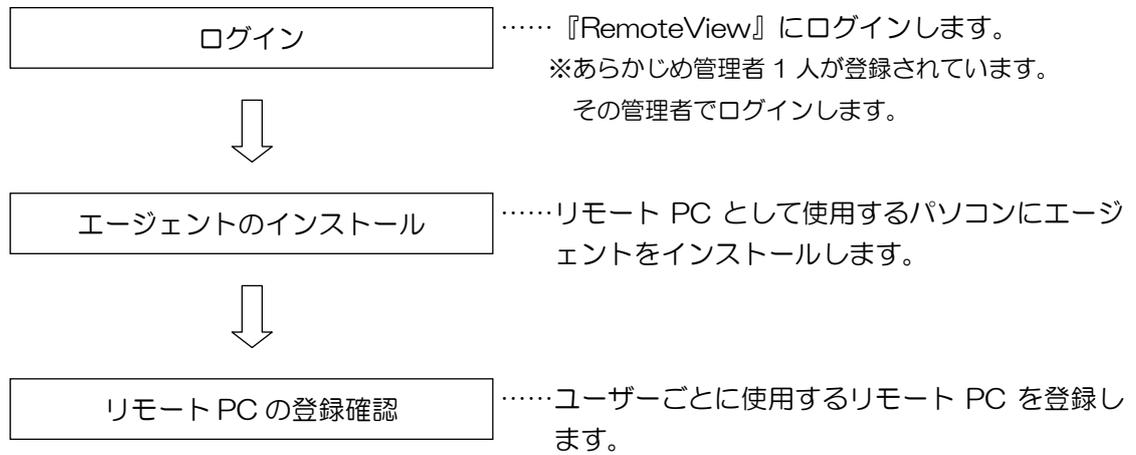
- 2.1 初期設定の流れ
- 2.2 ログイン
- 2.3 エージェントの設定

## 2.1 初期設定の流れ

---

『iCompass リモート PC』を使用する前に、次の手順により事前設定が必要です。

※事前設定を行う作業は全て管理者としてログインして行ってください。



## 2.2 ログイン

事前設定を行うために『RemoteView』にログインします。

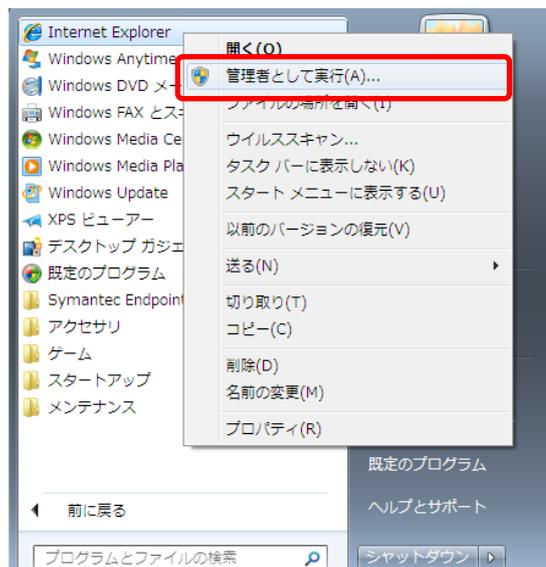
ログインに必要なアドレス、ID、パスワード等は、ご契約時に送付いたしました通知書に記載されています。

お手許にご用意のうえ以降の操作をご確認ください。

Webブラウザ（Internet Explorer）を起動してください。

OSがWindows Vista, Windows 7の場合、実行に必要なプログラムをインストールするため、管理者としてWebブラウザ(Internet Explorer)を実行してください。

64bitOSを使用している場合、Internet Explorerが2つあります。64bit Webブラウザ(Internet Explorer 64bit版)では動作しません。(Internet Explorer 32bit版)をご使用ください。



起動後に通知されているアドレスを入力すると次のウィンドウが表示されます。そこで「ログインページへ」をクリックしてください。



「RemoteView」のログインページが表示されます。



最初はあらかじめ登録されている”管理者”しかユーザー登録されていませんので、通知されている「会社 ID」「管理者 ID」「パスワード」を入力して **LOGIN** をクリックしてください。

※後述する『第 4 章 ユーザー管理・グループ管理を行う』を行うことで、別のユーザー ID でログインすることが可能になります。

ログイン後、アドオンのインストールを促されるので、必ずインストールしてください。



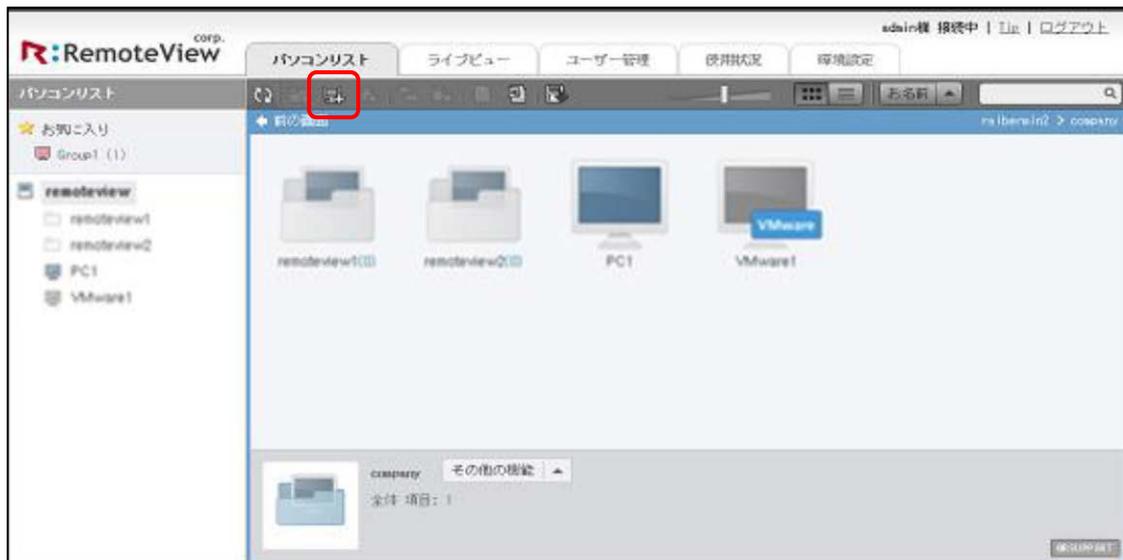
- アドオンがインストールされないと、リモート PC が正常に動作しない場合がありますので、必ずインストールするようにしてください。
- I E 9 の場合は画面下部に表示されます。

## 2.3 エージェントの設定

パソコンをリモート PC として使用するためには、エージェントと呼ばれるプログラムをインストールする必要があります。

インストールはリモート PC2 として使用する各パソコンに必要なになりますので エージェント をインストールするパソコンから『iCompass Remote View』にログインして、管理者メニュー画面から  をクリックします。

前章で記述した通りに、ログインすると次の画面が表示されるので、画面内の赤枠で囲ったところをクリックしてください。



- グループ設定画面について詳しくは『第 4 章 ユーザー管理・グループ管理を行う』を参照してください。

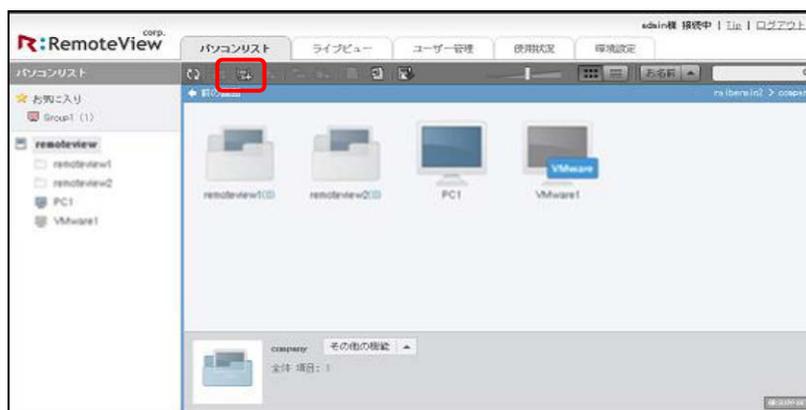
## ●エージェントのインストール手順

エージェントのインストールは次の手順で行います。



- エージェントをインストールするには PC の administrator 権限が必要になります。
- OS が Windows Vista, Windows 7 の場合、実行に必要なプログラムをインストールするため、管理者として Web ブラウザ (Internet Explorer) を実行してからインストールしてください。管理者として Web ブラウザを実行する方法は『2.2 ログイン』を確認してください。インストール環境は『1.2 基本仕様』の「リモート PC (接続されるパソコン) 動作環境」を確認してください。  
タブレット端末、スマートフォンへのエージェントのインストールには現在対応していません。

- (1) インストールするパソコンで管理者メニュー画面のパソコンリストタブを開きます。
- (2) [パソコンリスト] でパソコン追加をクリックします。



次の 2 つの方法でパソコン追加ができます。

- ツールバーのパソコン追加アイコンをクリック
- マシン表示領域でマウスの右クリックメニューの[パソコンの追加]をクリック

- (3) 画面表示に従ってインストールを進めます。
- (4) プロキシサーバを使う環境の場合、プロキシサーバを使用するオプションを選択します。

プロキシサーバ 情報はネットワーク管理者にお問い合わせください。



(5) ユーザーページ（管理画面）にログインした時のIDとパスワードを入力します。

RemoteView 5.0 Agent - InstallShield Wizard

**Remote View ウェブ・サーバー認証**  
ウェブ・サーバーからユーザー認証をします。

登録されたユーザー認証をします。ユーザーのIDとパスワードを入力します。登録されたユーザーのみ設置ができます。

ウェブID: admin

ウェブパスワード:

InstallShield

< 戻る(B) 次へ (N)> キャンセル

(6) エージェントに接続する際に必要な、エージェント用接続IDを設定します。  
(ノート PC に接続する時に必要な情報ですので、メモを控えるなどして忘れないようにしてください)

RemoteView 5.0 Agent - InstallShield Wizard

遠隔サービスを利用する時、アクセス・アカウントを設定します。

離れた場所から該当PCに接続する時、該当PCに対して接続認証を要請します。PCが動作している間、いつでも接続するためには「システムスタート時に自動ログイン」をチェックしてください。

接続ID: admin

接続パスワード: ●●●●●●

接続パスワード確認: ●●●●●●

システム起動時に自動ログイン

InstallShield

< 戻る(B) 次へ (N)> キャンセル

(7) 遠隔プリンターを使用しない場合はチェックを外します。

をクリックすると、インストールが完了します。

RemoteView 5.0 Agent - InstallShield Wizard

**InstallShield Wizard の完了**

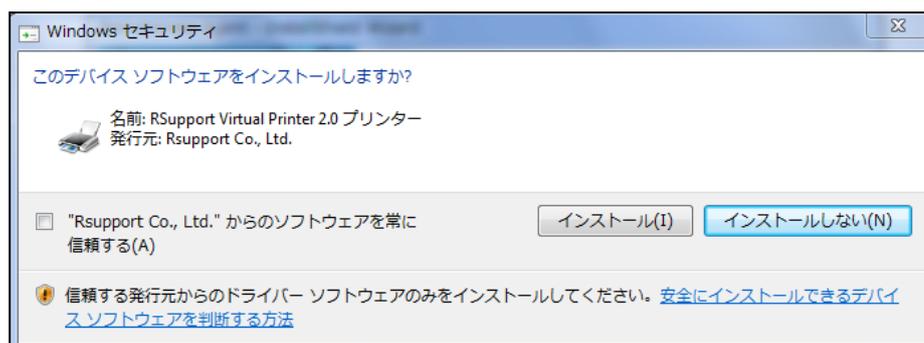
セットアップは、コンピュータへ、RemoteView 5.0 Agent のインストールを終了しました。

リモートプリンターをインストールします。

InstallShield

< 戻る(B) 完了 キャンセル

(8) インストール(I)を選択します。



(9) エージェントインストール後、更新が完了すると、パソコン右下のトレイに RemoteView エージェントのアイコンが表示されます。

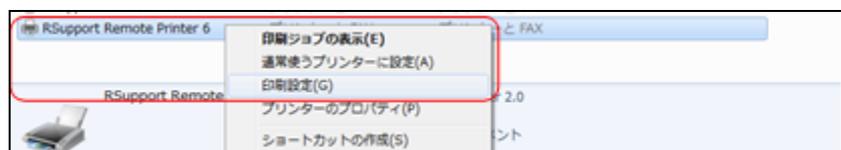


(10) 登録されたパソコンは、[パソコンリスト]で確認することができます。

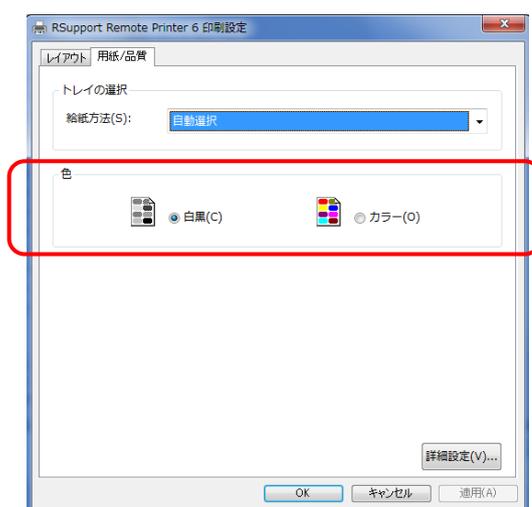
### ●プリンタの初期設定

※インストール直後は、モノクロ印刷モードになっているためカラー印刷ができません。プリンタの設定を行うことでカラー印刷が可能になります。

Rsupport Remote Printer を右クリックして、印刷設定を選択します。



[用紙/品質]タブの色で「カラー(O)」を選択してください。



※「カラー(O)」を選択した場合、ネットワークの通信量が増えます。



・エージェントをインストールすると定期的にサーバーとの接続状況を確認します。確認中は他に動作中のプログラムの動きが遅くなることがありますのでご注意ください。エージェントのアンインストールは、『第5章・エージェントのアンインストール』を参照してください。

# 第3章

## リモート接続と制御方法

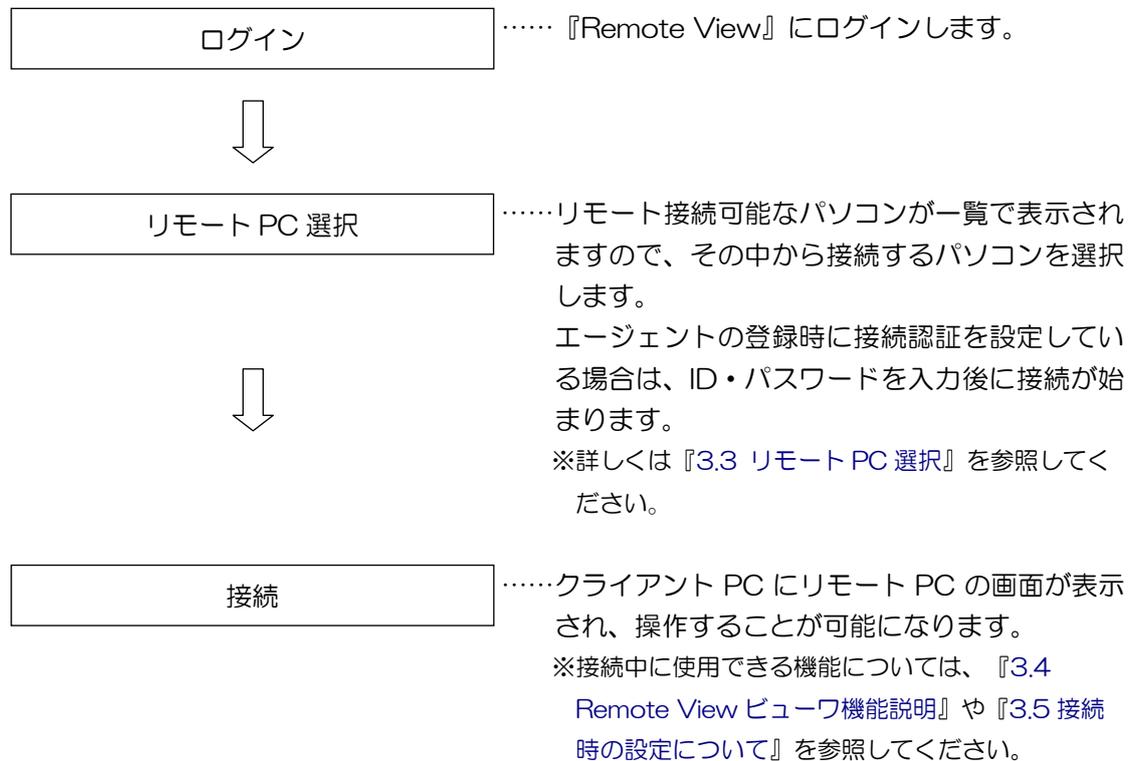
この章では、『iCompass リモート PC2』の接続方法について説明します。

- 3.1 処理の流れ
- 3.2 ログイン
- 3.3 リモート PC の選択
- 3.4 Remote View ビューア機能説明
- 3.5 接続時の設定について

## 3.1 処理の流れ

---

『iCompass リモート PC2』の処理の流れは、次のようになります。



## 3.2 ログイン

Webブラウザ（Internet Explorer）を起動して通知されているアドレスを入力すると、次のウィンドウが表示されるのでログインページをクリックします。

http://remotepc2.mjs.co.jp



Remote View ログインページが表示されます。



管理者から通知されている「会社 ID」「ユーザー ID」「パスワード」を入力して **LOGIN** をクリックします。

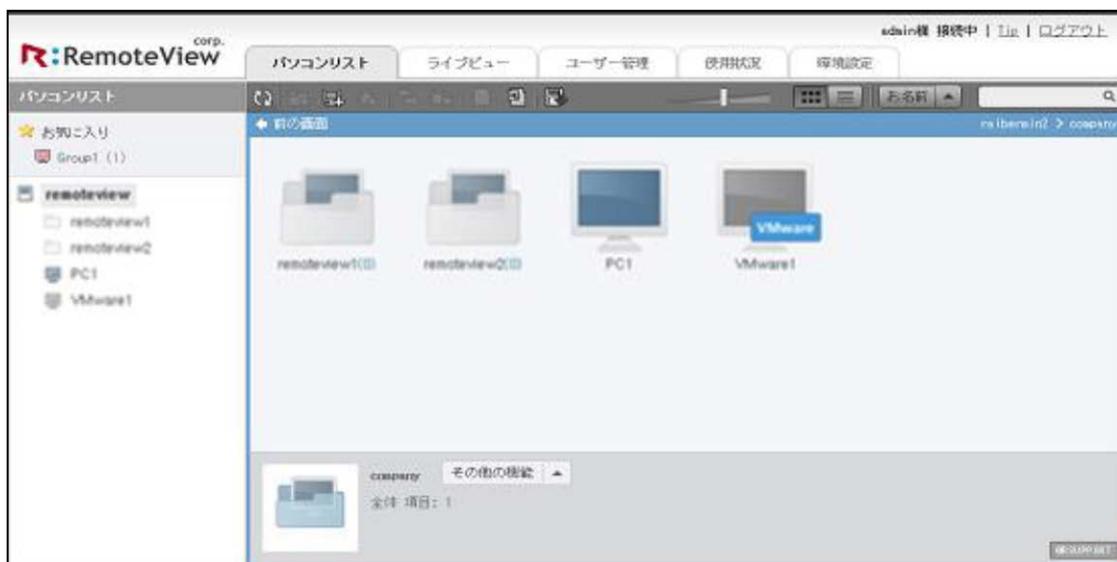
※「ID を保存する」にチェックを付けると、次回起動時に今回入力した「ログイン ID」が初期表示され、パスワードを入力するだけでログイン可能になります。ID の保存はクライアント PC ごとに行われます。

## 3.3 リモート PC 選択

ログインすると、処理メニューが表示されます。リモート PC 一覧から接続するパソコンをクリックします。



- 表示メニューの内容は管理者、マネージャ、一般ユーザーで異なります。メニューの違いと各処理の説明については、『第7章 ユーザー別権限』を参照してください。



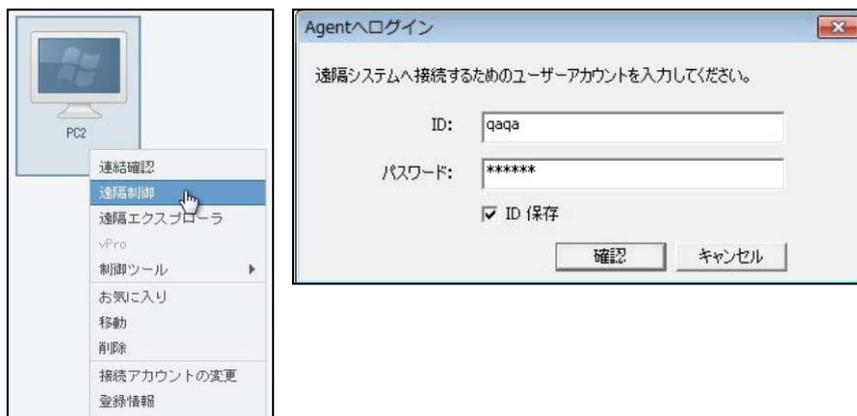
エージェントのインストールが終了した直後はリモート PC 一覧に表示され、アイコンが  になっていることを確認してください。

- ※サーバーに情報が更新される際に若干のタイムラグが発生し、すぐには更新されない場合があります。その場合は  をクリックして表示内容を更新してください。

	<p>【接続可能】</p> <p>接続可能なリモート PC です。 ダブルクリックするとリモート接続が始まります。</p>
	<p>【接続可能】</p> <p>接続可能なリモート PC です。 ダブルクリックするとリモート接続が始まります。 vPro 機能を使うことができます。</p>
	<p>【他で使用】</p> <p>他のユーザーが現在接続中のリモート PC です。 他のユーザーの操作が終了するまで接続できません。</p>
	<p>【オフライン】</p> <p>リモート PC が次のいずれかの状態になっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 電源が入っていない</li> <li>• エージェントが起動していない（ログオフ状態）</li> <li>• ネットワークに接続していない</li> </ul>

### (1) 遠隔制御

遠隔接続に必要なユーザー認証情報を入力後、遠隔制御を実行することができます。右クリックメニューからの操作も可能です。



### (2) リモート接続

リモート PC への接続が始まり、正常に接続されるとリモート PC の画面が表示されます。画面の表示方法には「ウィンドウ表示」と「全画面表示」の2種類があります。後述する「設定」で接続後に表示方法を変更することができます。また、接続中も切り替えることは可能です。

※接続直後の表示方法の指定は『3.5 接続時の設定について』を参照してください。



### (3) リモート接続終了

ウィンドウ右上に表示されている×ボタンをクリックして「はい」を選択します。



## 3.4 RemoteView ビューア機能説明

リモート接続中のビューア画面内の機能について説明します。



### (1) 制御設定

ホーム  → 制御設定

遠隔制御接続時に適用される環境を設定することができます。接続後にも設定変更は可能です。リモート接続中にホームボタンから「制御設定」を起動します。



メニュー	内容名	内容説明
基本接続	ネットワーク	一般ネットワーク環境：データを圧縮して送る。
	ネットワーク状態によってデータ圧縮の有/無を選択する。	高速ネットワーク環境：データを圧縮せずに送る。
	制御モード	高速制御モード：仮想ドライバーを利用して画面を検出する。
	リモート先パソコン環境によって制御モードを選択する。	グラフィック制御モード：仮想ドライバーを利用せずに画面を検出する。
	画面色	RemoteView ビューアに表示される画面の色を選択する。
	画質	一般ネットワーク環境の場合、画面品質を調整する。
共有画面	遠隔解像度	リモートパソコンの解像度を調整することができる。
	遠隔色	リモートパソコンの色を調整することができる。
画面スクロール	自動スクロール	リモートパソコンの画面がユーザーパソコン画面より大きい場合、ビューア下端と右側にスクロールとして表示されます。オプション選択時、マウス動きだけで上/下、左/右スクロールが可能。

## (2) ビューア > マウス・キーボード制御

### ・マウス・キーボード制御

遠隔制御のため接続後、マウス・キーボード制御ボタンがクリックされている状態です。ユーザーはリモート先パソコンをすぐ制御することができます。

マウス・キーボード制御ボタンがクリックされていない場合にはリモート先パソコンを制御することができません。

### ・マウス追跡

マウス追跡をクリックするとリモート先パソコンのマウス動きをユーザーに表示させます。

### ・レーザーポインタ(矢印/円)

リモート先パソコンに矢印/円模様のポインタを表示して遠隔制御時、特定位置や動きの表現時に簡単に案内することができます。

### ・**Ctrl+Alt+Del** 転送

リモート先パソコンに Windows システムキーの **Ctrl+Alt+Del** キーを転送することができます。

## (3) ビューア > 描画

### ・描画

遠隔制御時、曲線、直線、四角形、円をユーザーと同時にリモート先パソコン画面に描画することができます。線の厚さ及び色の変更も可能です。リモート先から描画要請時接続案内ウィンドウの描画アイコンをクリックすると描画が可能です。

## (4) ビューア > 画面

### ・画面設定

ユーザーとリモート先パソコン画面解像度によって多様な画面設定が可能です。ビューアの画面設定アイコンを繰り返しクリックするとビューア画面を順次的に縮小します。

- 遠隔モニター  
リモート先パソコンに 2 台以上のマルチモニターの場合、ユーザーはリモート先パソコンのモニターの画面の中で制御したい一つのモニター画面を選択することができます。
- 画面ナビ  
リモート先パソコンの画面がビューアの大きさより大きい場合、表示されない部分を簡単に探索することができます。
- ズーム  
ユーザーがビューアウィンドウの大きさ倍率を制御環境に合わせて 25~200%倍率に調整することができます。
- 自動調整  
ユーザーのビューアウィンドウの大きさに合わせてリモート先パソコン画面を自動で調整します。
- リアルサイズ  
リモート先パソコンの解像度の大きさとおりユーザービューアに表示します。
- フル画面  
ローカルパソコンビューアの画面をローカルモニタサイズに合わせた全体画面で表示します。
- 遠隔画面ロック  
遠隔制御が実行される場合、リモート先パソコンの画面が表示されないようにロックします。

#### (5) ビューア > ツール

- 画面保存  
現在制御中のリモート先パソコンの画面をキャプチャーしてユーザーパソコンに PNG ファイルで保存します。  
ファイル保存先 :共有ドキュメント(or 共用ドキュメント)  
¥Rsupport¥RemoteView¥Capture
- URL 転送  
ユーザーは URL 送信のみでリモート先パソコンにウェブブラウザから URL を実行させることが可能です。
- ファイル転送  
ユーザーパソコンのファイルをリモート先パソコンに送ります。Drag&Drop および Copy&Paste 機能を支援してユーザーパソコンからファイル選択した後、ビューアに表示されるリモート先パソコンの特定フォルダに Drag するか、貼り付けることですぐ転送することができます。  
ファイル保存先 :共有ドキュメント(or 共用ドキュメント)  
¥Rsupport¥RemoteView¥Received Files
- ファイル取り込む  
リモート先パソコンのファイルをユーザーパソコンに取り込みます。  
Drag&Drop および Copy&Paste 機能(ショートカットキー **Ctrl+C** / **Ctrl+V** 支援)を支援してリモート先パソコンで ファイルを選択した後、ユーザーパソコンの特定フォルダに Drag するか、貼り付けると特定のフォルダに転送することができます。  
リモート先パソコンでユーザーにファイル転送時、アクセス案内ウィンドウのファイル送信メニューを利用して送るファイルを選択したり転送するファイルをアクセス案内ウィンドウに Drag します。



- ファイル保存先 :共有ドキュメント(or 共用ドキュメント)  
¥Rsupport¥RemoteView¥Received Files
- クリップボード  
ユーザーパソコンとリモート先パソコンのクリップボード内容を確認・同期化することができます。
- サウンド共有スタート  
リモート先パソコンから出る音をユーザーパソコンから聞くことができます。  
※サウンドカード種類によって音共有機能を支援しない場合があります。
- 録画スタート  
遠隔制御時、ローカルパソコンからリモート先パソコンを制御する画面を録画することができます。録画終了後録画ファイルはローカルパソコンに日付別に自動保存されます。  
ファイル保存先：共有ドキュメント¥Rsupport¥RemoteView¥Cam  
※RemoteView サービスの録画ファイルは RSUPPORT で独自開発したファイル形式(\*.rsfx)で汎用的な動画プレーヤーを利用して再生することはできません。

#### (6) ビューア > 追加機能

- お気に入り  
コントロールパネル項目を選択してリモート先パソコンに実効することができます。
- システム情報  
リモート先パソコンのシステム情報(H/W、ソフトウェア)を確認することができます。
- プロセス情報  
リモート先パソコンのプロセス情報を確認するか実行中のプロセスを中止することができます。
- アクセス案内ウィンドウ  
遠隔制御時、リモート先パソコン右下の“遠隔制御中”という文句の表示とともにリモート先パソコンに表示される案内ウィンドウでユーザーがリモート先パソコンを遠隔制御していることを表します。また、アクセス案内ウィンドウを通じてリモート先パソコンで多様な機能を行うことができます。  
アクセス案内ウィンドウ終了時、ユーザー パソコンとの遠隔連結は切れます。



機能	説明
描画	リモート先パソコンに描くことができる。
ポップアップウィンドウを常に上に	アクセス案内ウィンドウを他のウィンドウよりいつも上に位置させる。
ファイル転送	ユーザーパソコンにファイルを送る。
受信ファイルを開く	ユーザーから受信したファイルが保存されたフォルダを開く。
遠隔プリンター削除/ インストール	遠隔プリンタードライバを削除/インストールする。

## 3.5 接続時の設定について

RemoteView にログイン後の処理メニュー「環境設定」の主な機能を説明します。



### (1) 画面設定の変更

環境設定タブ選択 → 個人設定



※ユーザーによって表示項目が違います。

作業可能：管理者、マネージャ、一般ユーザー

### ●画面設定



#### 制御モード

リモート先パソコン環境による制御モード(高速制御モード or グラフィック制御モード)を設定します。

#### 画面カラー

ビューア画面のカラーを設定します。 解像度が低いほど制御スピードが速くなります。

### (2) 管理者パスワードの変更



## 環境設定タブ選択 → アカウント設定

※ユーザーによって表示項目が違います。

作業可能：管理者、マネージャ、一般ユーザー

ユーザーのアカウント情報確認及び変更が可能です。(ID は変更不可)

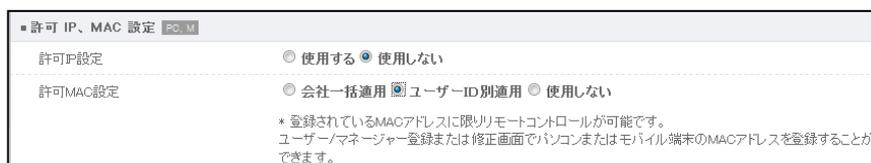
## (3) 接続元のセキュリティ設定

### 環境設定タブ選択 → セキュリティ設定



※ユーザーによって表示項目が違います。

- ウェブセキュリティ設定
- アクセスセキュリティ設定  
パスワード変更、エージェント 削除などセキュリティの確認が必要なイベントが発生する場合は セキュリティ確認のためにパスワード入力をもう一度要請します。
- ユーザー認証セッション  
ログインした後、動作しない場合のセッション維持時間を設定します。
- 遠隔地セキュリティ設定
- 遠隔画面ロックの一括適用  
遠隔制御中リモート PC の画面をロック可否を設定します。全ての使用者に一括適用します。
- 遠隔制御後システムロック  
遠隔制御終了後のシステムロック可否を設定します。
- 無操作時のビューアロック  
遠隔制御中に何らかの動作がない状態で、設定した時間が経過した時のロック可否を設定します。
- 接続制限に関する設定
- 許可 IP、MAC 設定



- 許可 IP 設定

特定 IP に対する接続遮断可否を設定します。

- 許可 MAC 設定

特定 MAC アドレスに対する接続遮断可否を設定します。



# 第4章

## ユーザー管理・グループ管理を行う

この章では、『iCompass リモート PC2』のユーザー管理、グループ管理、の方法について説明します。

- 4.1 概要
- 4.2 マネージャー作成
- 4.3 グループの作成とマネージャーへの権限付与
- 4.4 ユーザーの作成
- 4.5 ユーザーが所属するグループを設定
- 4.6 リモート PC が所属するグループを設定
- 4.7 ユーザーの削除
- 4.8 グループの削除

## 4.1 概要

---

次の作業を行うことでより詳細な設定ができます。

管理者の作業：マネージャの作成、グループの作成、作成したグループ内の権限をマネージャに付与(複数マネージャに可能)

マネージャの作業：ユーザー作成、自分のグループ内のマシンへの接続許可を付与ユーザーの

作業：エージェントのインストール(マネージャでも可能)

詳細は『7.1 ユーザーごとの権限一覧表(管理画面)』 『7.2 ユーザーごとの権限一覧表(遠隔制御)』を参照してください。

## 4.2 マネージャー作成

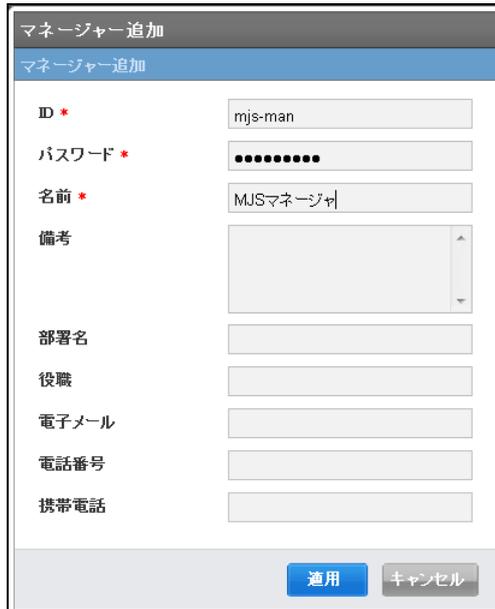
(1) ユーザー管理タブを選択します。



(2) ツールバー→ [マネージャー追加] ボタンをクリックします



(3) マネージャー情報を入力します。

The image shows a dialog box titled 'マネージャー追加' (Add Manager). It contains several input fields for user information. The 'ID' field contains 'mjs-man', the 'パスワード' (Password) field is masked with dots, and the '名前' (Name) field contains 'MJSマネージャ'. Below these are fields for '備考' (Remarks), '部署名' (Department Name), '役職' (Position), '電子メール' (Email), '電話番号' (Phone Number), and '携帯電話' (Mobile Phone Number). At the bottom of the dialog are two buttons: '適用' (Apply) and 'キャンセル' (Cancel).

ID：マネージャーがログイン時に使用するユーザーID のことです。

パスワード：ログイン時に使用します。

名前：管理画面内で表示される名称になります。

(4) [適用] ボタンをクリックすると、新しいマネージャーが追加されます。

## 4.3 グループの作成とマネージャへの権限付与

(1) パソコンリストタブを選択します。



(2) ツールバー > 「グループ追加」 ボタンをクリックします



(3) グループ情報を入力します

The image shows a dialog box titled 'グループ追加' (Add Group). It contains the following fields and controls:

- 担当** (Responsible): A dropdown menu with 'mjsadmin(mjsadmin)' selected.
- グループ名 \*** (Group Name): An empty text input field.
- 備考** (Remarks): A text area with the instruction '(30文字以内に作成)' (Create within 30 characters).
- 登録可能なPCが** (Number of registrable PCs): A checkbox followed by a text input field containing '4' and the unit '台' (units).

At the bottom of the dialog, there are two buttons: '適用' (Apply) in blue and 'キャンセル' (Cancel) in grey. A note at the bottom states: '\* 現在のグループに登録可能なPC数を制限することができません。' (Cannot limit the number of registrable PCs for the current group).

担当：作成済みのマネージャのうち作成するグループのマネージャを登録して権限を付与します。

グループ名：管理画面内で表示される名称になります。

(4) [適用]ボタンをクリックすると、グループが作成されます。

## 4.4 ユーザー作成

マネージャ ID でログインをし直します。

(1) ユーザー管理タブを選択します。



(2) ツールバー-> [ユーザー追加] アイコンをクリックします。



(3) ユーザー情報を入力します。

The image shows the 'ユーザー追加' (Add User) dialog box. It has a title bar and a header with the text 'ユーザー追加'. Below the header are several input fields: 'ID \*' with the value 'mjsuser', 'パスワード \*' with masked characters '.....', '名前 \*' with the value 'mjs001', and '備考' (Remarks) with an empty text area. Below these are fields for '部署名' (Department Name), '役職' (Position), '電子メール' (Email), '電話番号' (Phone Number), and '携帯電話' (Mobile Phone Number). At the bottom right, there are two buttons: '適用' (Apply) and 'キャンセル' (Cancel).

ID：一般ユーザーがログインの時に使用するユーザーID のことです。

パスワード：ログイン時に使用します。

名前：管理画面内で表示される名称になります。

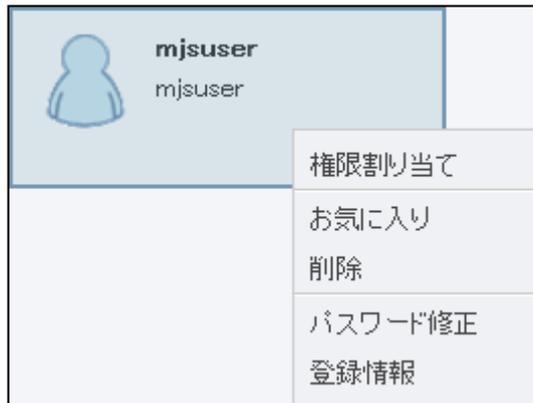
(4) [適用] ボタンをクリックすると、新しいユーザーが追加されます。

## 4.5 ユーザーが所属するグループを設定

(1) ユーザー管理タブを選択します。



(2) 権限登録をするユーザーを選択して右クリックメニュー → 「権限割り当て」 クリックします。



(3) 権限情報を入力します。

1. [グループ選択]で所属するグループを選択します。

グループ選択 *	選択してください。						
ユーザー名前	遠隔エクスプローラ	画面制御					
mjsuser	<input checked="" type="checkbox"/> 許可	<input checked="" type="checkbox"/> 許可	<input checked="" type="checkbox"/> 画面キャプチャー	<input checked="" type="checkbox"/> プリント	<input checked="" type="checkbox"/> 録画	<input checked="" type="checkbox"/> ファイル転送	<input checked="" type="checkbox"/> クリップボード

2. [Agent 選択]は入力せず[適用]ボタンをクリックします。

グループ選択 *	MA_group						
Agent 選択	選択しない						
ユーザー名前	遠隔エクスプローラ	画面制御					
mjsuser	<input checked="" type="checkbox"/> 許可	<input checked="" type="checkbox"/> 許可	<input checked="" type="checkbox"/> 画面キャプチャー	<input checked="" type="checkbox"/> プリント	<input checked="" type="checkbox"/> 録画	<input checked="" type="checkbox"/> ファイル転送	<input checked="" type="checkbox"/> クリップボード [変更可能]

これにより所属するグループのリモート PC に接続する権限がユーザーに割り当てられます。

## 4.6 リモート PC が所属するグループを設定

(1) 移動元・移動先のグループへの権限があるユーザーで管理画面にログインします。  
※マシンを移動する場合は、移動元・移動先、両方へのグループへの権限が必要になります。

(2) パソコンリストタブを選択し、移動するマシンのグループを選択します。



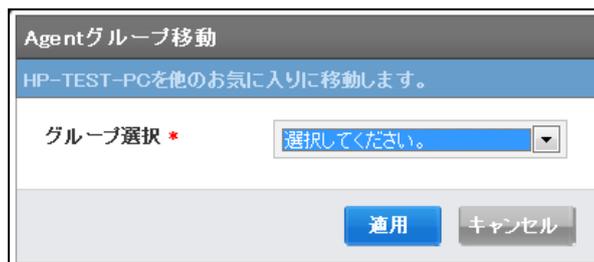
(3) 対象マシンを選択して右クリックメニュー → 「移動」をクリックします。



※マシンを選択した状態でツールバー上の移動ボタンからも移動可能です。



(4) 移動先のグループを選択します。



(5) [適用]ボタンをクリックします。



新規にマシンを追加すると、ログイン中のユーザー(マネージャ、管理者含む)が所属しているグループになります。

エージェントインストール手順については、『[2.3 エージェントの設定](#)』を参照してください。

## 4.7 ユーザーの削除

(1) ユーザー管理タブを選択します。



(2) 削除したいユーザーを選択して右クリックメニュー → 「削除」 をクリックします。



※ユーザーを選択した状態でツールバー上の削除ボタンからも削除可能です。



(3) 管理画面にログインする時のパスワードを入力します。



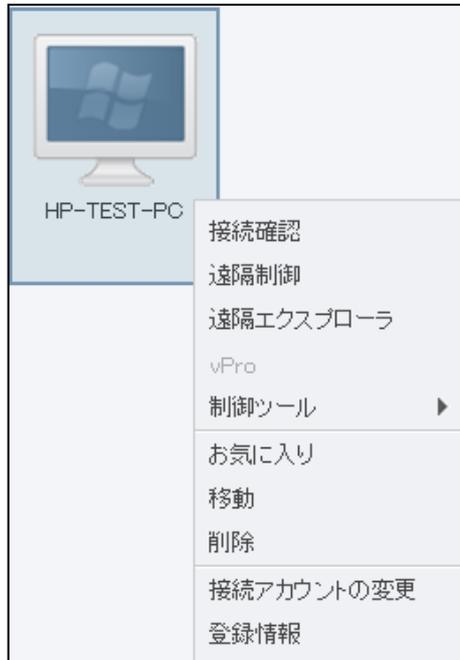
(4) [確認] ボタンをクリックすると、ユーザーが削除されます。

## 4.8 グループの削除

(1) パソコンリストタブを選択します。



(2) 削除したいグループを選択して右クリックメニュー → 「削除」をクリックします。



※グループを選択した状態でツールバー上の削除ボタンからも削除可能です。



(3) 管理画面にログインする時のパスワードを入力します。



(4) [適用]ボタンをクリックします。 選択したグループが削除されます。



# 第5章



---

## エージェントのアンインストール

この章では、『iCompass リモート PC2』の削除・取り消し機能について説明しています。

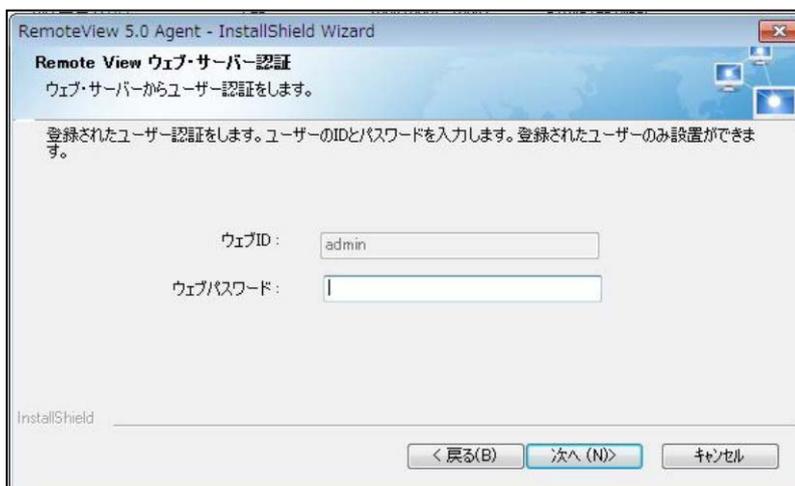
### 5.1 エージェントのアンインストール

## 5.1 エージェントのアンインストール

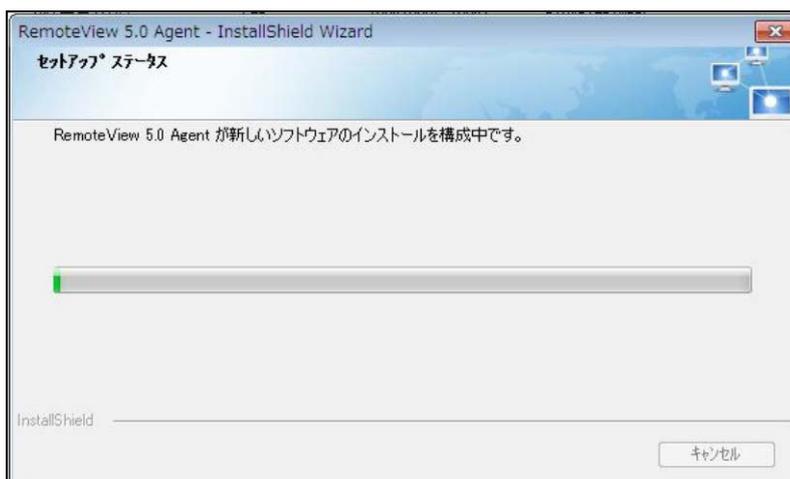
- (1) スタートメニューから「RSUPPORT」>「RemoteView5.0」>「Agent」>「Run RemoteView Agent Uninstall」を起動してください。
- (2) 次のメッセージがポップアップされます。



- (3) ユーザーページのログインアカウントのパスワードを入力します。



- (4) エージェント 削除処理が進行します。



(5) エージェント 削除が完了します。



(6) エージェント 削除が完了したらシステムトレイから RemoteView エージェントアイコンが削除されます。



※コントロールパネルプログラムリストから削除することも可能です。

- (1) スタート>コントロールパネル>プログラムの追加と削除(Windows Vista 以下) またはプログラムと機能(Windows7)を開きます。
- (2) プログラムリストから 'RemoteView エージェント' を選択します。
- (3) [アンインストール]をクリックします。
- (4) 以降は上記と同様に削除プロセスが動作します。

※パスワードを忘れた場合は、パスワード入力欄まで進みキャンセルボタンをクリックすると、アンインストールが行われます。

※サーバと通信できない状態やサーバからマシン情報をすでに削除してしまった場合も、パスワード入力欄まで進みキャンセルボタンをクリックすると、アンインストールが行われます。

詳細は『第8章 Q&A について』を参照してください。



# 第6章

## マニュアル・ライセンス情報

この章では、『iCompass リモート PC2』の各種情報の参照方法について説明します。

- 6.1 ダウンロード
- 6.2 ライセンス情報

## 6.1 ダウンロード

マニュアルについては、通常マニュアル、iPhone用、Android用、Linux用と用意していますので、ダウンロードしてご利用ください。



## 6.2 ライセンス情報

現在ご契約のライセンス、Agent 数、ライセンス期間等を確認することができます。  
環境設定→ライセンス情報

RemoteView <sup>corp.</sup>		パソコンリスト	ライブビュー	ユーザー管理	使用状況	環境設定
環境設定	🔄	[PC,M] : パソコン、モバイル共通 [PC] : パソコン専用				
個人設定	■ 現在ライセンス					
アカウント設定	商品区分	Premium				
セキュリティ設定	ライセンス区分	デモ				
電子メール設定	マネージャー数	0 / 10				
ライセンス情報	Agent数	0 / 10				
システム管理	ライセンス期間	2012/12/21 ~ 2013/01/04				
ダウンロード	契約日	2012/12/21				
製品情報	ライセンス状態	有効				



# 第7章

## ユーザー別権限

この章では、『iCompass リモート PC2』の項目の一覧表について記述します。

- 7.1 ユーザーごとの権限一覧表(管理画面)
- 7.2 ユーザーごとの権限一覧表(遠隔制御)

## 7.1 ユーザーごとの権限一覧表(管理画面)

権限 管理画面 +		管理者	マネージャー	一般ユーザー
リモート先パ ソコン管理	グループ追加	○	×	×
	パソコン追加	○	○	○
	お気に入り	○	○	○
	移動	○	○	×
	削除	○	○	×
	登録情報	○	○	○
	Excel ファイルで エクスポート	○	○	○
ユーザー管理	マネージャー追加	○	×	×
	ユーザー追加	○	○	×
	お気に入り	○	○	×
	ユーザー権限 割り当て	○	○	×
	移動	○	○	×
	削除	○	○	×
	登録情報	○	○	×
	Excel ファイルで エクスポート	○	○	×
使用状況	チャット	○	○	○
	記録	○	○	○
	システム	○	○	○
環境設定	ユーザー設定	○	○	○
	アカウント設定	○	○	○
	セキュリティ設定	○	×	×
	電子メール設定	○	×	×
	ライセンス情報	○	×	×
	会社情報管理	○	×	×
	ダウンロード	○	○	○

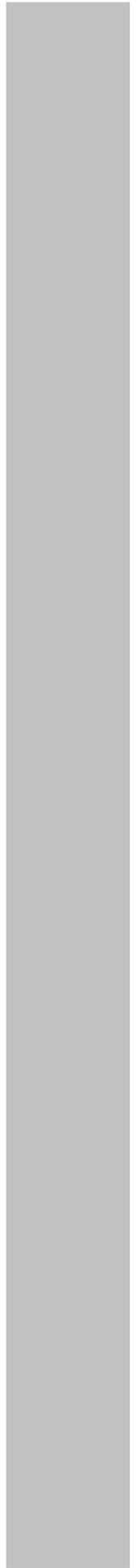
## 7.2 ユーザーごとの権限一覧表(遠隔制御)

		管理者	マネージャー	一般ユーザー
リモート先パソコン管理	接続確認	管理者は作業可能です	○	○
	遠隔制御		ユーザーごとの指定可能	ユーザーごとの指定可能
	遠隔エクスプローラ		ユーザーごとの指定可能	ユーザーごとの指定可能
	vPrO		○	○
使用状況	お気に入り		○	×
	移動		権限なし	権限なし
	削除		権限なし	権限なし
	アカウント変更		権限なし	権限なし
	登録情報	○	○	



# 第8章

Q&Aについて



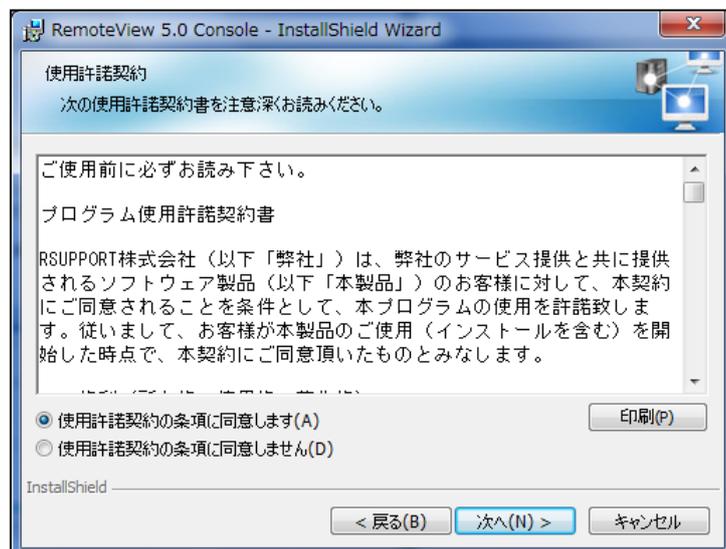
## 8.1 Q&Aについて

Q1	管理画面内にはログインできるが、マシンをクリックしても接続できない。
A1	ActiveX が正常に動作していない可能性があります。パソコンアプリケーションを使用して、こちらで接続してください。ActiveX を使用しない接続を行うことができます。

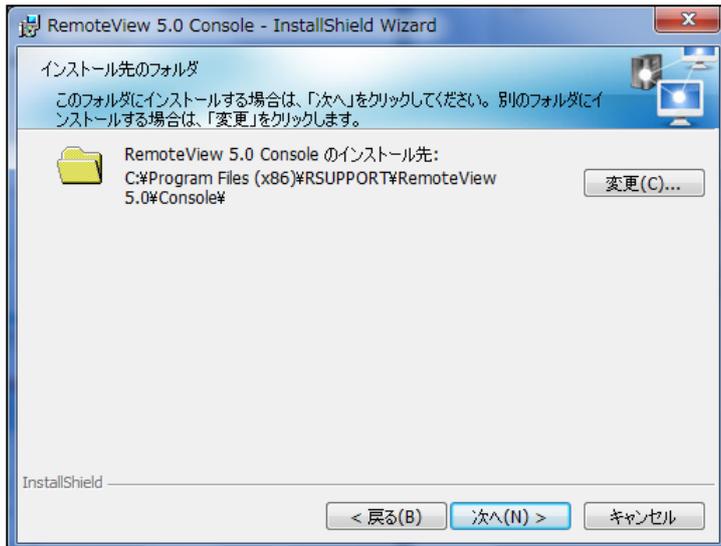
(1) 次へを選択します。



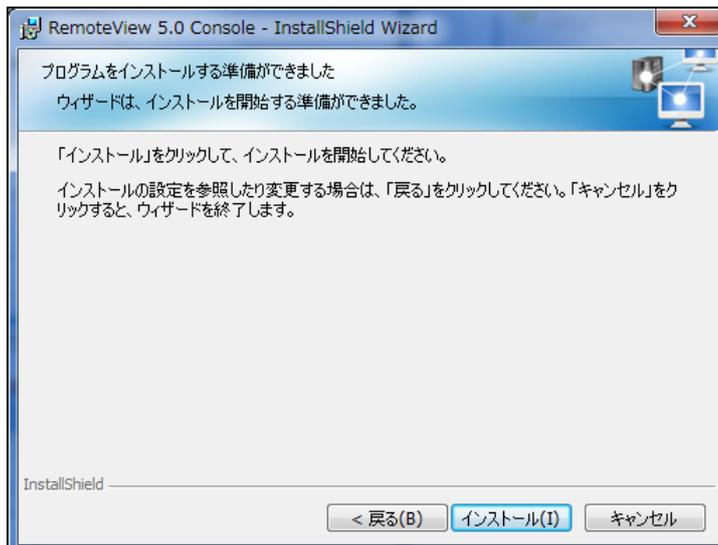
(2) [同意します]を選択して次へを選択します。



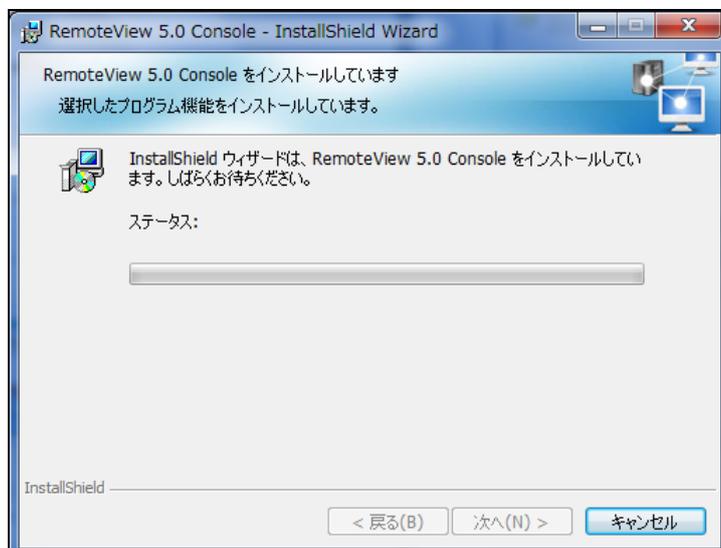
(3) 次へを選択します。



(4) インストールを選択します。



(5) インストールが始まります。



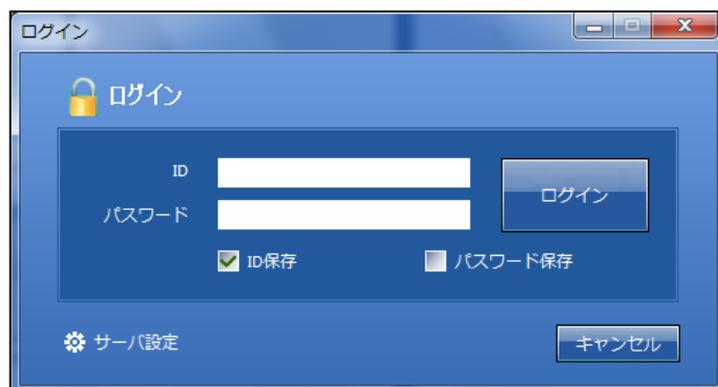
(6)完了をクリックしてください。



(7)残ファイルのインストールが始まります。



(8)インストールが終了するとログイン画面が出てきます。左下のサーバ設定をクリックしてください。



(9) 次のとおり入力した後で確認をクリックします。

商品区分を EnterPrise にします。

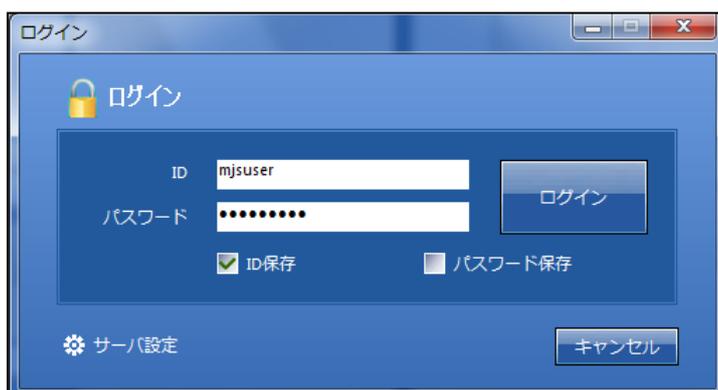
企業ID は、一番最初に割り当てているID になります。

サーバは、biz.rview.com になります。

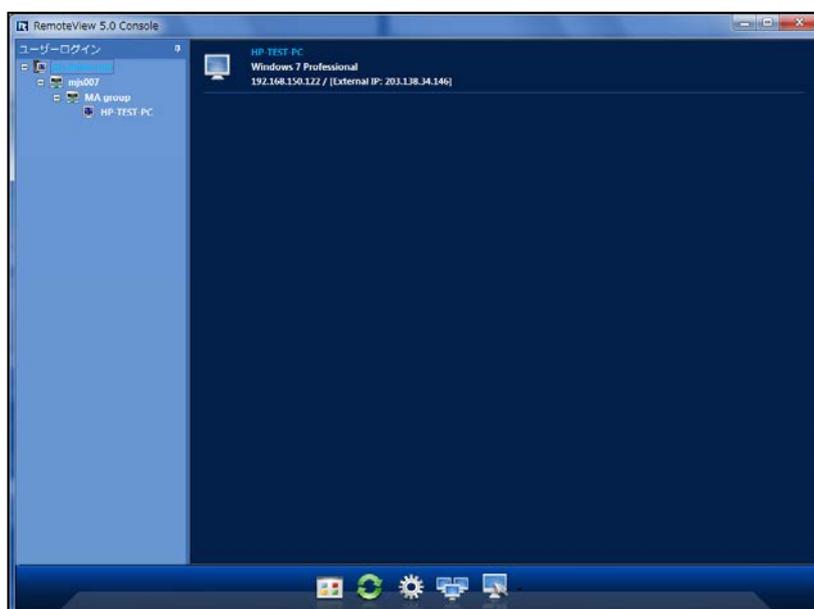
ポートは、80 になります。



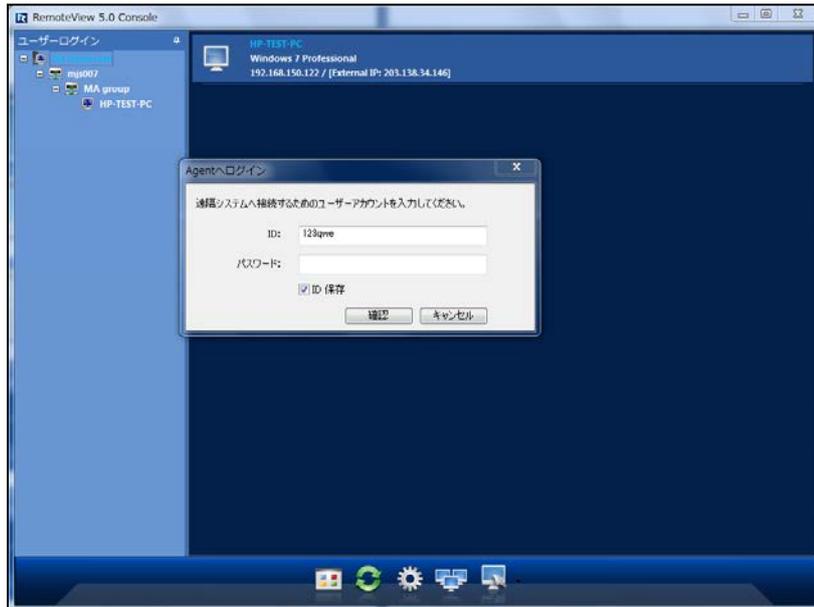
(10) ID/Pass は管理画面 web ページにログインするときと同じものを入力してログインします。



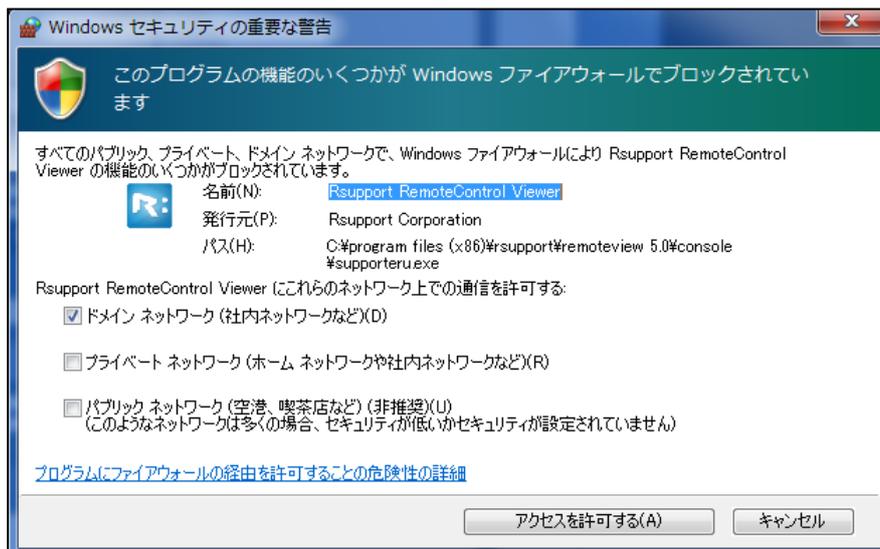
(11) 接続するマシン上で右クリックして接続を選択します。



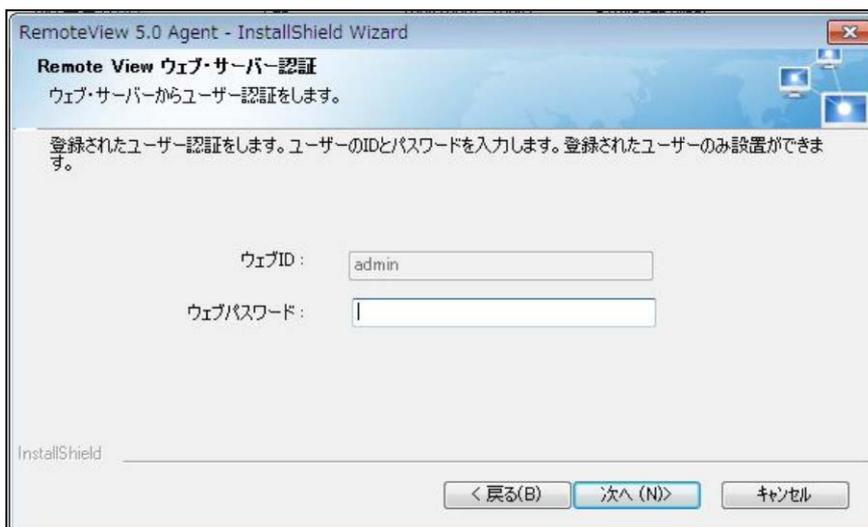
(12)接続時に使用する認証 ID を入力すると終了です。



(13)次のメッセージが出てきた場合は、アクセスを許可してください。



Q2	エージェントを削除するときのパスワードを忘れてしまった。
A2	アンインストール画面でキャンセルをクリックすると、エージェントがアンインストールされます。その後、管理画面内で削除してください。



- ※パスワードを忘れた場合、パスワード入力欄まで進みキャンセルボタンをクリックした後でアンインストール処理を再度続行すると、アンインストールが行われます。
- ※サーバと通信できない状態やサーバからマシン情報をすでに削除してしまった場合も、パスワード入力欄まで進みキャンセルボタンをクリックした後でアンインストール処理を再度続行すると、アンインストールが行われます。

Q3	ファイル送受信時の受信フォルダはどこにありますか。
A3	ファイル保存先:共有ドキュメント(or 共用ドキュメント) ¥Rsupport¥RemoteView¥Received Files ※マシンの設定によっては、ファイル受信時にフォルダが自動で開かないケースがあります。

---

# iCompass リモート PC2

## 操作マニュアル

iCompass-2

---

第 1 版	平成 25 年 1 月 28 日
第 2 版	平成 26 年 1 月 31 日
第 3 版	平成 26 年 7 月 7 日
第 4 版	平成 27 年 6 月 18 日

(不許複製)

---